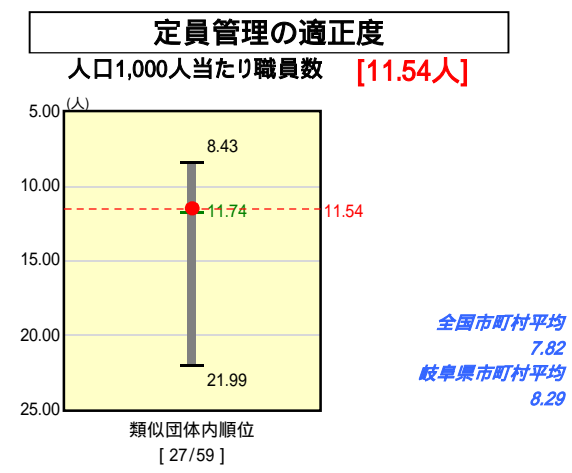
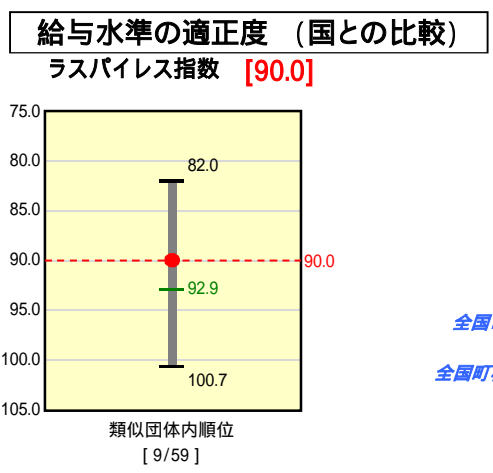
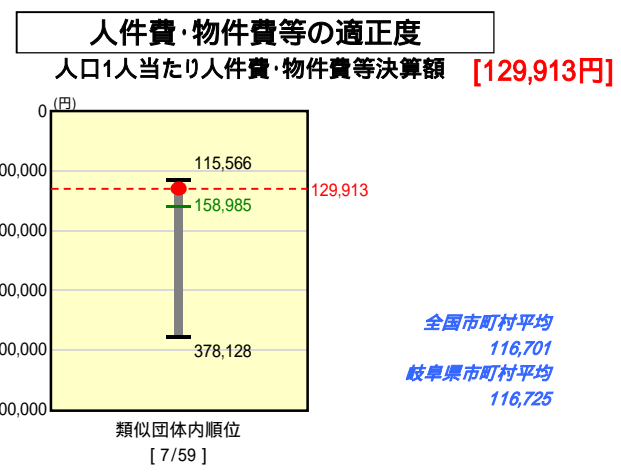
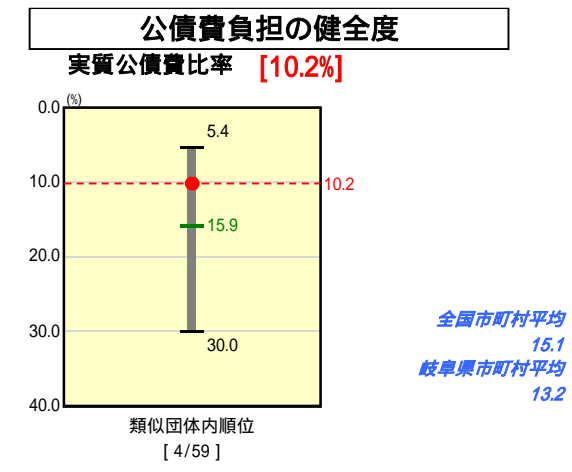
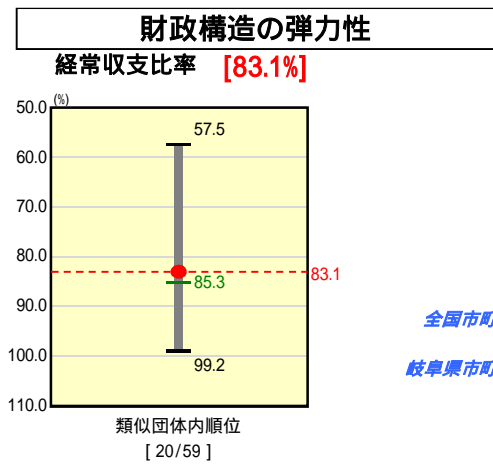
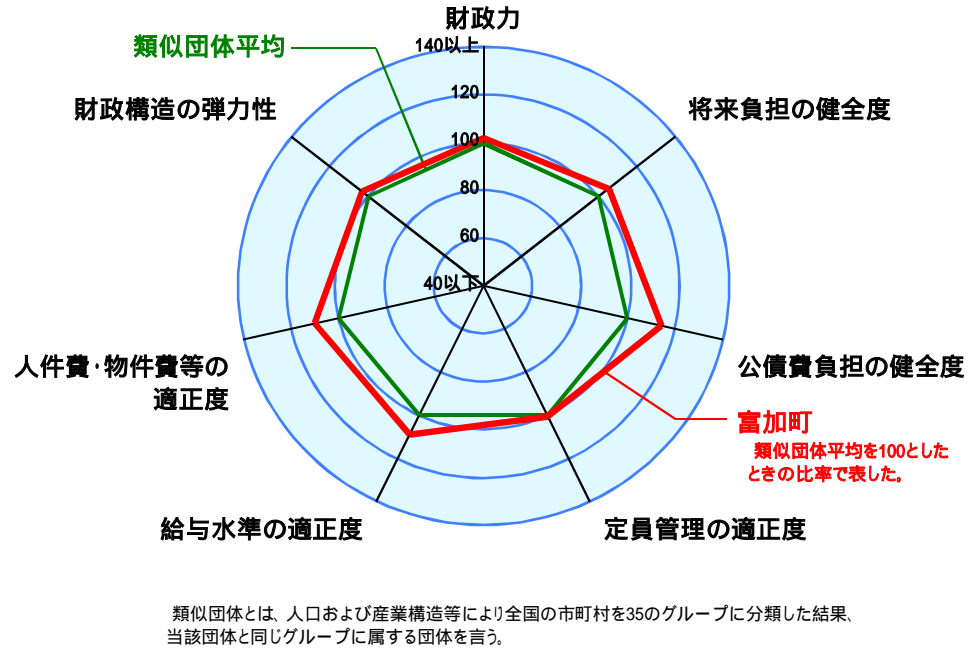
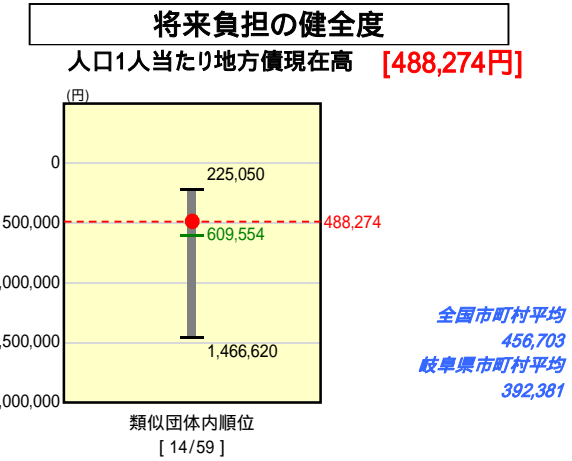
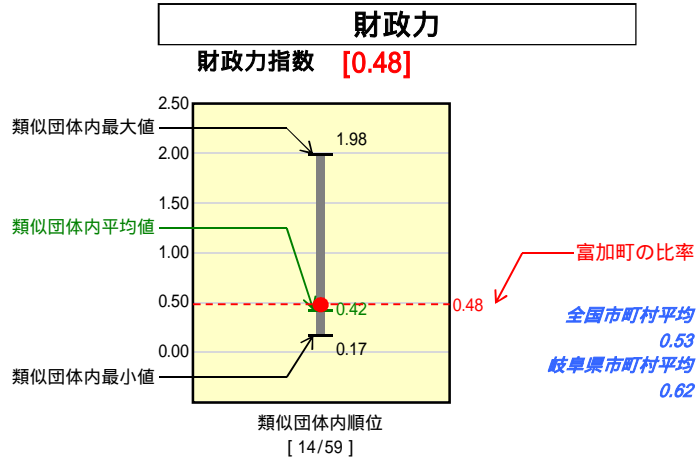


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

岐阜県 富加町

人口	5,720 人(H19.3.31現在)
面積	16.82 km ²
歳入総額	2,328,612 千円
歳出総額	2,147,286 千円
実質収支	181,326 千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力
財政力指数は、ここ数年は連続した伸びを見せており、0.48となっている。平成19年度に町開発公社所有の残り1区画(約1.7ha)も売却が完了し、商業施設の開発もあり、税収増が期待できることから今後も伸びる傾向にある。

財政構造の弾力性
公債費(平成21年度頃をピーク)や特別会計(介護等の医療や下水道事業)への繰入金等の増加により、年々悪化している。今後は、町税徴収率の向上に努める等一般財源の確保に努めると共に、新規地方債の発行抑制や事務事業の見直しによる経常経費の削減に努める。

人件費・物件費等の適正度
ごみ処理業務及び消防業務を一部事務組合で行っていることもあるが、引き続き類似団体内平均よりも低い水準にある。今後も一部事務組合への負担金を含めて経費の抑制に努めていく。

給与水準の適正度
昨年と状況に変わりなく類似団体内でも低い水準にあり、地域の状況等を踏まえて給与の適正化に努める。

将来負担の健全度
類似団体と比較して少ない方ではあるが、必要な事業の取捨選択を行い新規地方債発行の抑制に努める。

公債費負担の健全度
普通会計の起債償還のピークが平成21年度頃となっており、また下水道事業に係る起債の償還金も当分は減少しないことから、悪化傾向にある。将来負担を考慮しながら、新規の地方債発行を抑制する。

定員管理の適正度
ほぼ類似団体の平均的な職員数となっている。集中改革プランの定員管理を確実に実行し、適正な定員管理に努める。